



能登半島地震の被災者の方々へ1日でも早い復興を心より願っております。

## ロコキッズケアの災害時避難場所は 烏森小学校 です

2024年は年始より能登半島地震に見舞われ、多くの方が被災により家や家族、仕事を失い、本当につらい思いや生活をされていることに大変に心が痛みます。お亡くなりになられたの方々のご冥福を心よりお祈りいたします。自然災害は他人事ではなく首都圏地震はあり得ることとして、当施設としても災害時の確認事項、備蓄の整備について話し合っています。災害時の避難場所は近隣の烏森小学校となりますので、ご確認ください。

また被災地ではたくさんの子どもたちが学ぶ場、遊ぶ場を失い、いつもと違う生活環境や景色に戸惑いを見せることがあります。そんな時に、子どもたちに対して、大人はどのように接してあげると良いのでしょうか？今回は当緊急下の子どもたちのためのケア「子どものための心理的応急処置 (Psychological First Aid for Children)」(以下 PFA) をご紹介します。



保育室の壁には中目黒の街がファンシーに描かれ、病気のおさんが少しでも楽しい気分になるように想いがこめられています！

## 1月のキッズトリビア **子どものための心理的応急処置 (子どものための PFA) を学ぼう！**

**PFAとは**：事故や災害など**危機的な状況に直面した子どもたちの心を傷つけない**ように、周囲の大人たちが対応するための方法です。

(世界保健機関 WHO などがまとめた PFA を、子どもに特化してセーブザチルドレンが作成したのが、「子どものための PFA」です。)

**子どもの示す反応**：普段とは異なる**反応や行動**を見せ、年齢によって異なります。親にくっつく、いつもより泣く、落ち着かない、攻撃性が高まる、敏感になる、赤ちゃん返り、口数が減る、遊び方の変化、多動や行動減少、不眠、悪夢など、

行動原則①**見る**：まずは自分の身の安全を確保し、周りに**支援を必要としている子ども** (怪我・衣食住 etc) がいないか探しましょう。

行動原則②**聴く**：子どもや養育者に**ニーズや心配事**について尋ねましょう。耳を傾けつつ、決して無理強いないよう注意が必要です。

行動原則③**つなぐ**：適切なサービスにつなぎ、情報提供し、社会的支援につないで、本人たちの力で対処できるように手伝いましょう。

そして最後に、どんなに大きく環境が変わってしまっても、**子どもたちの日常生活ルーティーンをできるだけ保って**あげましょう。

PFAについてより詳しく知りたい方はこちらから！



あずかるこちゃん  
病児保育ネット予約サービス



目黒区は先進的に病後児保育施設の予約システムの ICT 化を決定しました。当施設では先んじて病児保育専用ネット予約サービス『あずかるこちゃん』を導入して、朝の忙しい時間帯に利用の可否の電話をする施設側・保護者側双方の大きなストレスを LINE 通知で解消し非常に好評です。まずは事前登録だけでもぜひぜひ、お待ちしております。

利用可能登録者数 331名  
(あずかるこちゃん事前登録数)

1月の利用者数 47名  
(助成対象外利用者を含む)

### ご協力をお願い

おうちにある、使わなくなったおもちゃや絵本、衣服をぜひロコキッズケアで再利用させてください。地域の皆さまと支え合う施設をめざしています。ぜひ皆さまからの寄付をお待ちしています！



所在地 東京都目黒区東山1-9-8 高橋ビル  
開所時間 月曜日～金曜日 08:00 - 18:00  
電話 03 - 3714 - 6565  
運営機関 ロコクリニック中目黒

